



12月となりました。「師走」という異名は有名ですが、「極月」という異称も12月にはあるようです。「きわまりつき」とも呼ぶようですが、「ごくげつ」という読みの方が一般的なようです。

「極」は、「きわみ」、「最果て」、「これ以上ないこと」ですから、12月にはピッタリな呼び方かもしれません。極限をめざして、自分の目標に邁進する人間になりたいと思いますし、国際協力や農業の分野で、学生のみなさんにもそうあってほしいと願っています。

1度きりの人生。目標が達成された暁には、感極まって泣けてくるのかもしれません。

★12月の行事予定★



- 1日(日) 地域防災の日
- 2日(月) 三ヶ日みかん収穫実習開始(6日まで、4日(水)除く)
- 4日(水) 特任講師鈴木厚志先生(京丸園社長)特別講義
- 7日(土) 和地協働センターまつり準備(収穫、パネル展示)
- 8日(日) 和地協働センターまつり野菜販売(9:00集合 10:00販売)
- 11日(水) 終業日(大掃除、LHR、農業実習)
- 12日(木) 冬季農業実習・インターンシップ開始(27日まで)
- 22日(日) 第8回オープンキャンパス
- 30日(月) 閣令休暇
- 31日(火) 閣令休暇

※1月予定 6日(月) 農業次世代投資資金事業課題研修期間(14日まで)
15日(水) 始業日

★諸行事報告★

①和地地区環境保全活動

11月7日(水)オイスカ高校のグローバルキャリアコース2年生28名と合同で、和地地区環境保全活動に参加しました。本年度3回目となります。高校生は梅の木の剪定、専門学生は草刈りに主として従事しました。3回目ともなれば、みんな手慣れたもので、草刈り機の扱いも堂に入っています。瞬間に草が無くなっていきます。梅の木の側には、菜の花を育てるための準備がされていて、早春には、この「ホタルの郷アソガ谷」も、梅の花が咲き誇り、菜の花も咲くという美しい景観が見られることでしょう。



②湖東荘ふれあいフェスタ野菜販売

11月10日（日）本校近隣にある浜松市老人福祉センター湖東荘にて12:00から、今年も学生が愛情を込めてつくった野菜を販売しました。毎年好評の本校の農作物。ブロッコリー、大根、キャベツ、水菜、お米、花苗などを市場価格よりも低価格で提供します。すぐに完売となるものもありました。学生達の販売に携わるその姿勢も、回を重ねるごとに手際がよくなってきたようです



③視察研修ー掛川市ストロベリーファーム鈴木農園

11月20日（水）世にも珍しい「白いちご」の栽培でメディアにも取り上げられる「鈴木農園」の見学に伺いました。いちご狩り用のいちご摘み園のほか、7つの農場約4,000坪の施設（株数12万本）でいちごの栽培を行い、生食用、製菓業務向け出荷など年間約90トンの出荷を行っているそうです。ハウスの中で植物が最も力を発揮できるように環境を整え、高品質で高収量ないちご農場を目指しているということで、学生たちも興味津々でした。



④湖西市立岡崎中学校生き方講座・浜松市立湖東中学校地域ふれあい講座

11月21日（木）・22日（金）に、「総合的な学習の時間」の一環として、湖西市立岡崎中学校と浜松市立湖東中学校の生徒さんが、相次いで来校されました。本校の国際協力・農業活動を体験を通して学ぶことによって、変化の激しい社会に対応し、自ら課題を見つけて自ら学び、主体的判断を通して、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることが目標です。本校教頭による国際協力講座や農場での収穫や出荷の実習を行う、中学生のみなさんの真剣な表情が印象的でした。

